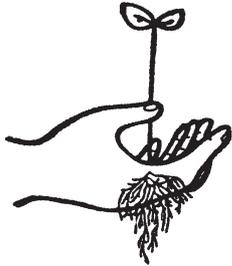




何れも世界を愛するが如く

A M P S

AZUMA MAKOTO PRIVATE SEMINAR
20090624



花を愛でる
俺はなぜ花を愛でる

365日、咲いては朽ちゆく命を見る

花の生も死もすべて引き受けて
そこから放たれる一瞬の煌きを掴むために
ほんの僅かな命の塊を永遠のものに変換するために

俺は心から花を愛でる、愛でて、愛でて、愛でて抜く

東 信

あなたは、花が好きですか

話し手：東 信 AZUMA Makoto

フラワーアーティスト。1976年福岡県生まれ。2002年より花屋を営み、現在は東京・南青山にてオートクチュールの花屋「JARDINS des FLEURS」を構える。その傍ら、花や植物の本性をあばき出す繊細かつストレートな表現を次々と手がけ、話題を集めている。

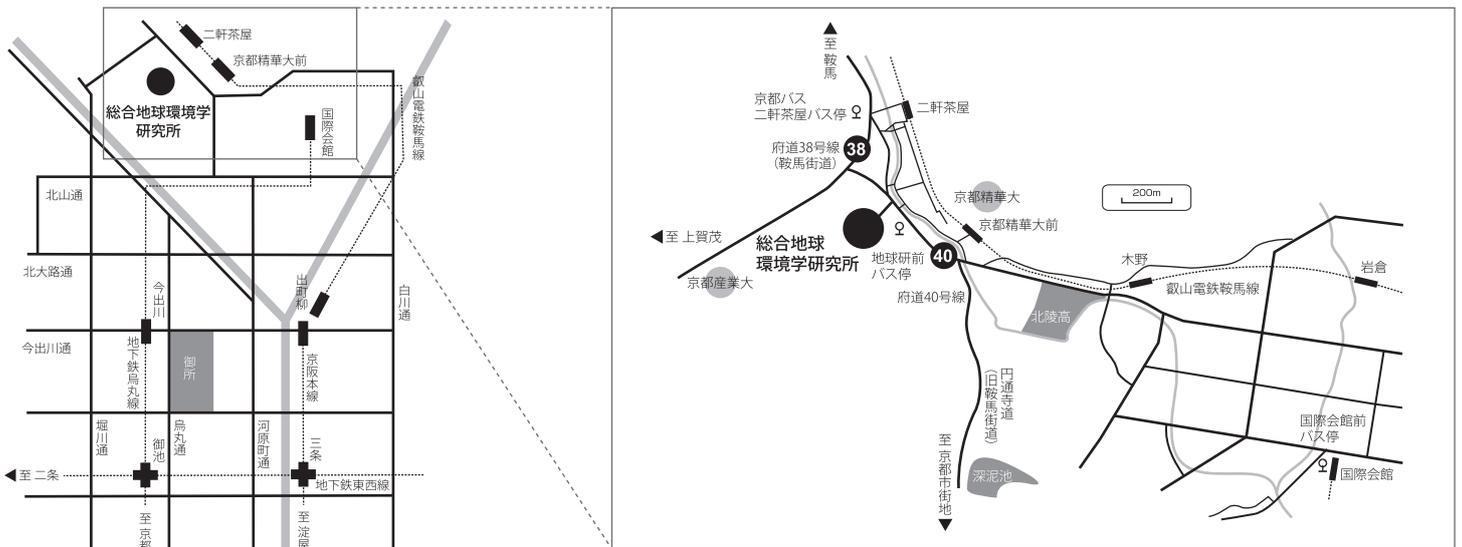
2005年以降はNY、パリをはじめ海外にも活動の幅を広げてきた。2007年、2年間限定のプライベートギャラリー「AMP G」(東京・清澄白河)をスタートさせ、月替わり計24回にわたって自身の作品を発表。2008年7月、個展「BOTANICAL SCULPTURE」を開催(NRWフォーラム、ドイツ・デュッセルドルフ)、約六千人の来場者を集める。同10月、吉岡徳仁ディレクション「セカンド・ネイチャー」展に参加(21_21 DESIGN SIGHT、東京・六本木)。2009年3月、AMP Gを総括する個展「AMP G vol.25」を開催(三菱地所アルティウム、福岡・天神、5月24日まで)、同時に福岡イムズ20周年記念館内装飾を行う。同4月、ミラノサローネと同時開催の「TOKYO FIBER09 SENSEWARE」展へ出展(トリエンナーレ美術館、イタリア・ミラノ)。5月、個展「Distortion × Flowers」を開催(EYE OF GYRE、東京・神宮前、5月15日-6月7日)、「森山大道」記録「on the road collaboration with 8 creators」展へ参加(EPISITE GALLERY、東京・西新宿、5月27日-7月5日)。

<http://www.azumamakoto.com/>

2009.6.24(WED)
15:00-17:00

会場／総合地球環境学研究所(地球研)・講演室
聞き手／鞍田崇(総合地球環境学研究所・上級研究員)

ACCESS MAP



- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館バスターミナル2番乗場から
京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研」下車スグ。
 - 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
 - 車・タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。
- * 自家用車でのご来場はお控え下さい。

聴講無料・申込不要

お問合せ

環境思想セミナー担当 鞍田崇(地球研・上級研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催／総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)

次回予告 vol.22 2009年7月10日(金)
「日常へのレジナンスー対話するアートとエコロジー」(仮題)
講師・長谷川祐子氏(東京都現代美術館チーフキュレーター)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所(地球研)
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>